

目標未達成理由等の報告書

都道府県名	市町村名	地区名	事業実施年度	目標年度	事業実施主体
栃木県	栃木市	大宮	27	29	栃木市

I 経営体ごとの成果目標の未達成理由等

No.	対象経営体名	成果目標	目標未達成となった主な理由等	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
2	省略	農産物の高付加価値化(夢あおばの導入:ha)	肥育している牛の餌となるWCSを一定面積作付けしたため、夢あおばの作付けが出来なかった。夢あおばの作付けをするためには、農地の確保が必要であるが、農地の集積が伸びないため。	農地中間管理機構や利用権設定を活用し、農地面積の拡大を図り、近年度中の目標達成を目指す。

II 地区の成果目標(必須目標)ごとの未達成理由等

成果目標項目(必須目標)	未達成理由の総括	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
農産物の高付加価値化(夢あおばの導入:ha)	肥育している牛の餌となるWCSを一定面積作付けしたため、夢あおばの作付けができなかった。夢あおばの作付けをするためには農地の確保が必要であるが、農地の集積が伸び悩んでいるため。	農地中間管理機構や利用権設定を活用し、迅速に農地を確保するとともに、関係機関との連携を密にしサポートの強化を図ることで目標達成を目指すように指導する。

III 地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向

1 担い手への農地利用集積について
実質化された人・農地プランにおいて大宮地区は農地面積696.7haのうち、303.8haが担い手に集積されており、集積率は43.6%となっている。

2 必要となる中心経営体の育成について
大宮地区の中心的経営体はほとんどが水田作を経営しており、中にはイチゴ・トマトといった園芸作物やニラ・大豆といった土地利用型作物を作付けし、複合経営に取り組んでいる農家もいる。また、大宮地区は牛肥育が盛んな地区でもあり肥育農家も多数いるため、多彩な品目を経営している地区といえ、今後も複合経営を行う農家が地区の中心になっていくことが見込まれる。行政としても引き続き、経営改善計画に沿って規模拡大等に向けた支援をおこなっていく。

3 人・農地プランの作成・見直し等について
地区座談会を開催することで中心経営体の現状把握に努め、年1回の見直しを実施するとともに集積状況を把握している。今後も関係機関と連携し、より良い人・農地プランの作成に取り組んでいく。

4 未達成者の対応等その他
農地中間管理機構や利用権設定の活用を促す等、サポートの強化を図ることで目標の達成を目指す。

〔記入要領〕

- Iの「目標未達成となった主な理由等」欄については、経営体の成果目標の項目ごとに主な理由を記入する。
また、「目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等」欄については、これまでの達成状況等の推移を踏まえ、具体的な改善措置の内容、目標達成の見込とその時期について記入する。
- IIの「未達成理由の総括」欄については、必須目標となる地区の成果目標ごとに、未達成理由を総括的に整理する。
また、「目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等」欄についても、地区の成果目標ごとに具体的な改善措置の内容、目標達成の見込みとその時期について総括的に記入する。
- IIIについては、IIで整理した地区の成果目標未達成理由等を考慮の上で、①地区内の担い手への農地利用集積状況や出し手・受け手の現状等を踏まえた課題と今後の具体的な対応策、②地域が必要とする担い手と地域内での役割分担の状況等を踏まえた課題と今後の具体的な対応策、③人・農地プランと現状との乖離状況等を踏まえた具体的な対応策等、④未達成者への今後の対応その他課題と対策等について記入する。